

「ソフトウェアからの設備制御」

LONMARK SESSIN 2017東京

2017/10/18

日本ピー・アイ株式会社
中畑隆拓

この資料の最終版は

<http://npinet.co.jp/data/lmj2017npi.pdf>

からダウンロードできます。

今日、伝えたいこと

IoTとかAI(人工知能)とか
話題になってますよね

設備制御の大変革が
おこりつつあります

ということをお伝えしたいです。

本日の内容

1. 照明が1台ずつ制御できると民衆をコントロールできる
2. IoT+AI+照明設備の制御
3. Node-REDから照明制御する方法
4. これからの照明設備の使われ方
5. 私達がおさえるべきこと



照明が1台ずつ制御できると
民衆をコントロールできます

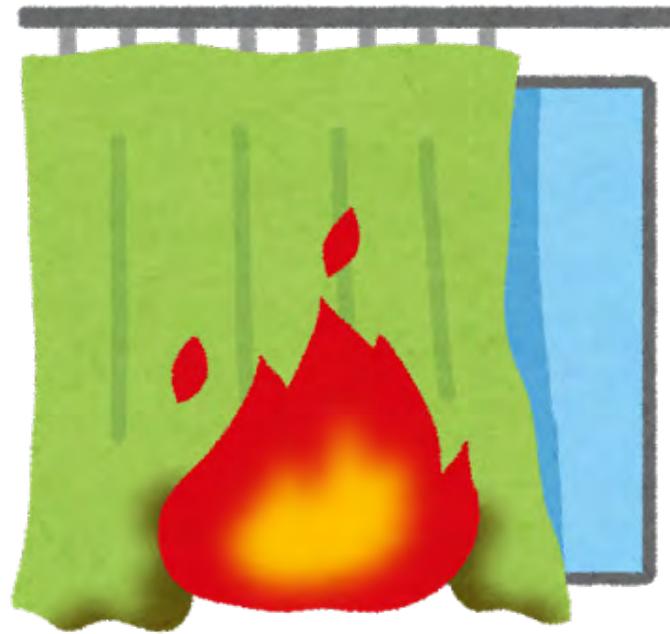
みなさん、天井をみてもらえますか？

照明器具がたくさんついていますよね？



もし、この照明器具が1台ずつ自由に制御できたら、
どんなことができるか、想像できますか？

緊急にみんなに伝えたい！



例えば、火事が発生！

どうやって、全員に「火事」であることをつたえますか？



叫ぶ！

つまり、【音】で伝えますよね？

もし、照明が1台ずつ制御できたら？



【音】だけでなく、【光】を使って、その空間にいる人達に何かを伝えることができるようになります。

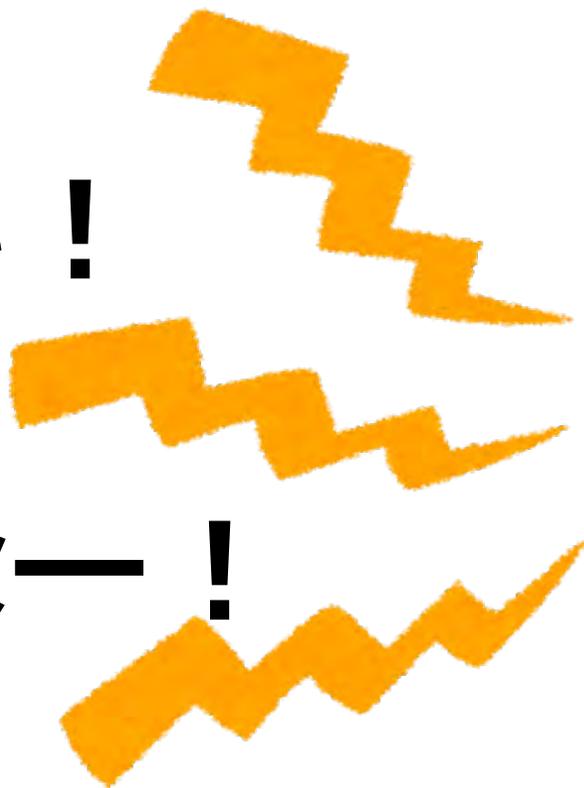
例をあげて説明します

この全員に何かをつたえたい！

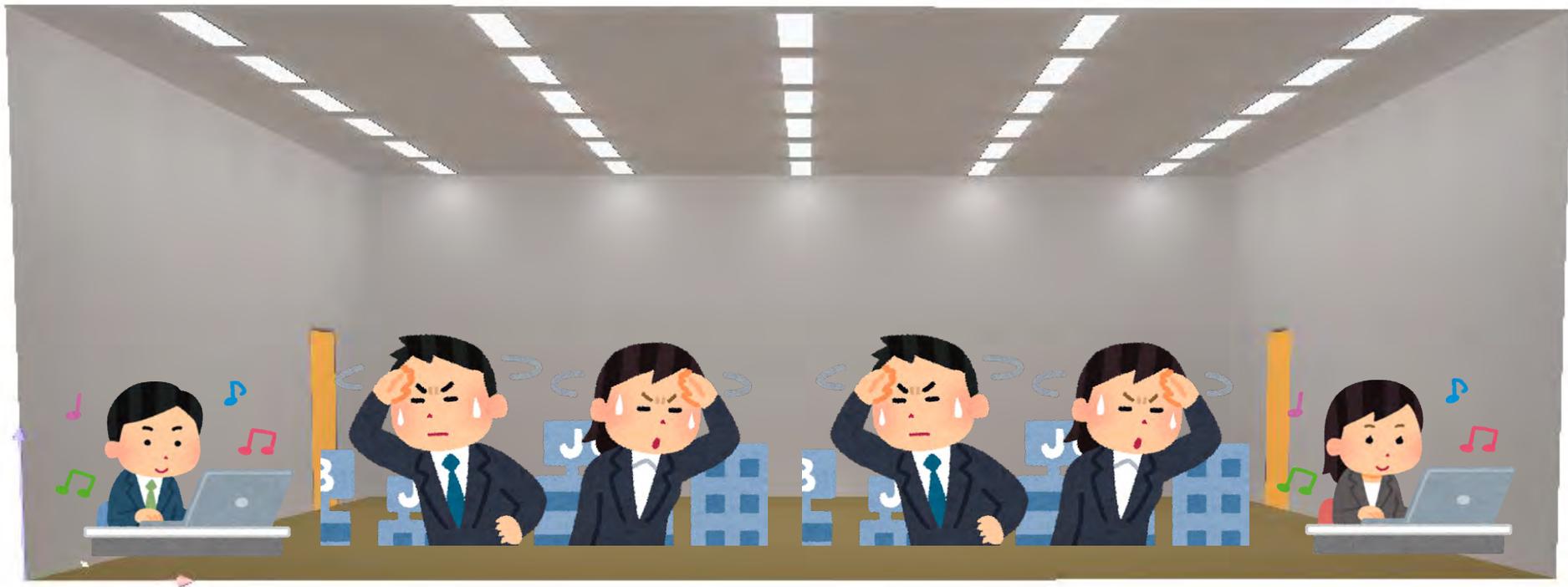


おーい！

みんなー！



超集中モード(ゾーン)



超集中モードなので、まったく気づいてもらえない人が.....

でも...

10秒間 真っ暗!
(照明が全部オフ)

明るくなった
(照明が全部オン)

【意識】 何かあったの？



「どうしたのだろう？」って、みんな自分の作業を止めて、
様子を伺いますよね？

再び、10秒間 真っ暗!
(照明が全部オフ)

そして...
(1箇所だけオン)